

令和5年度 園の自己評価 恵愛保育園

保育目標

- ・ 健康で明るい子どもに育てる(病気をしない体作り)
- ・ 食べることを楽しみ、食事を楽しみあう
- ・ 心と心が通いあう挨拶をする(『おはよう』『さよなら』『ありがとう』『ごめんなさい』等)
- ・ 行事の数を最小限に抑え、行事に追われない保育をする
- ・ 自然の移り変わり(四季)を十分に味わう(散歩・園庭の木々等)
- ・ 地域との関わりを大切にす。 (職場訪問・JR 赤間駅・城ヶ谷区福祉会・高齢者との関わり)
- ・ 思いやりの心を育てる(異年齢児保育)
- ・ 素直に自分の気持ちが言える子どもにする

クラス担任の評価

0 歳児

- ・ 新入児が多かったが、在園児との関わりを大切にして新入児の慣らし保育がゆっくりとでき、落ち着いて過ごせた
- ・ 一年を通して戸外遊びや散歩など日光や外気に触れる機会を多く持てた
- ・ 身の回りのことを進んでする姿が多く見られ、月齢の低い子も月齢の高い子の真似をして保育士の声掛けで何でも取り組もうとする姿があった
- ・ 朝早くから夕方まで保育時間が長い子が多く、出席率も良く、一年を通して感染症が流行することが少なく元気に過ごせた

1 歳児

- ・ 泣き声の毎日だったが、担任や新しい環境に慣れ、笑顔で登園できるようになった
- ・ 噛みつきなどトラブルが多かったが、保育士を介しながら自分の気持ちを伝え、相手の気持ちを考えることができるように声掛けを行ない、保護者との関わりを持っていた。
- ・ 行事や新しいことに意欲的に取り組めるようになり、それが自信となり、言葉が増え、排泄や身の回りのことにも楽しく取り組めるようになった
- ・ アレルギーの子が複数いるため、担任同士で確認しながら誤食がないように対応した

2 歳児

- ・ 自分ですることや新しい取り組みが多くなったので、子どもの負担がないように無理なく始められるように心がけた。家庭でも取り組めるように写真や手紙で伝えた
- ・ 着脱や排泄など身の回りのことが自分でできるようになった
- ・ 友達との関わりが多くなり、気持ちを言葉で表現できるようになったが、一方的な言葉になるなどのトラブルも増えたため、保育士が仲立ちをした

3 歳児

- ・ 日々の生活や様々な遊び、体験を通して友だちとの関わり方や相手の気持ちに気付けるようになった
- ・ 身の回りのことを自分でしないで保育士に頼っていたが、時間がかかっても自分でやってみる等、少しずつステップアップしてできた体験の積み重ねで意欲が出てきた

4 歳児

- ・ 日々の活動や制作、行事、当番活動など、どんなことにも積極的に楽しんで参加することができた。その中で友だちと協力し、一緒にすることに喜びを感じていた
- ・ 話の途中で言いたいことを言うなど、話を最後まで聞かず行動していたが、話を聞く姿勢を繰り返し確認し、進級を意識して静かにする姿が増えた

5 歳児

- ・ どのような活動に対しても、意欲的に楽しく取り組むことができた。自分たちで考え、意見を出し、話し合いをして進め、クラスで協力、団結して取り組む姿が見られた
- ・ 全体的に話を聞く姿勢は身につけているが、途中で自分の話をすることや、話を聞いていない様子があり、日々話を聞く姿勢の確認をしている
- ・ 小学校や他機関との連絡、連携を行い、情報共有できるように努めた

クラスの改善引き継ぎ事項

0 歳児

- ・ 除去食は引き続き声を掛け合い、確認して間違いなく提供していく
- ・ 日々給食室と話をし、食事の量や大きさ、形態など調節でき良かった

1 歳児

- ・ 食事のマナーについてスプーン、フォークの持ち方、よく噛んで食べることを伝えているが良くならない子もいるため引き続き伝えていく
- ・ 誤飲誤食を防ぐため食後衣服を全て着替えているが、来年度はどうするか検討
- ・ アレルギー食の提供の仕方を全員で目視確認を行う

2 歳児

- ・ 給食は食べる前に減らしてほしいか確認して食べるようにする
- ・ 箸を使うことに慣れることを重視したので握り箸の子が多いため、保護者へ伝える
- ・ トイレトペーパーの使い方を改めて指導してほしい(ペーパーホルダーの関係)

3 歳児

- ・ 個別の対応が大切で、その子にあった関わり方をしていく
- ・ 排便後の後始末をしているが、保育園で排便しない子もいるので、家庭でも指導するように伝える

4 歳児

- ・ 食事のマナーで、箸の持ち方、姿勢が身につかない子もいるので引き続き伝えていく
- ・ 個別の対応や各機関との連携が必要
- ・ 身体の使い方が難しいと感じている子が多く、個別の援助が必要

5 歳児

- ・ 郵便局のお手紙ごっこ遊びのキットで、手紙を書くことや文字への興味が広がった

クラス担任以外の評価

- ・ 感染症が広がることがなかった。職員の日頃の対応に感謝する
- ・ コロナが 5 類になったことで、保育や行事の見直し、確認をすることにより職員の連携ができた
- ・ ICT で指導案、呼吸確認、保育記録等を導入した
- ・ 第三者評価や社労士のコンサルを受けることにより、職員の共通認識ができた。自分たちでは気付かない事や当たり前と思っていることを評価してもらったことで自信となった。また、たくさんの課題が見え、これからやるべきことが明確になった
- ・ マニュアルの作成において、細かく確認することができた(特にアレルギーの対応)
- ・ 地域との関わりが戻ってきた(子育てサロンの開催、地域の祭りに参加等)

クラス担任以外の改善引き継ぎ事項

- ・ マニュアルの作成
- ・ コドモンやホームページを活用して保育園のことを上手く伝えていく(第三者評価の公表)
- ・ 定員を 100 名にし、安定的な保育・経営をしていく
- ・ 食育のあり方や園児との関わりを給食室として考えていく